

北海道幕別清陵高等学校が開校

【考・拓・愛】に込めた思い

新設された
北海道幕別清陵高等学校

4月9日④、北海道幕別清陵高等学校（澤田慎也校長）の開校式と平成31年度第1回入学式が行われ、第1期生102人が入学しました。

同校は、北海道教育委員会が策定した公立高等学校配置計画に基づき、全日制高校の再編整備に伴う新設校で、一つの校舎に「江陵高校」「清陵高校」の、『私立と公立』が共にする全道でも例を見ない学校です。

募集停止となった「幕別高校」「江陵高校」の在校生が卒業するまでの2年間は「幕別高校」「江陵高校」「幕別清陵高校」「中札内高等養護学校幕別分校」の4校で、それぞれ生徒が学ぶこととなります。

開校式では、北海道教育委員会の佐藤嘉大教育長が開校を宣言し、真新しい校旗と校章が披露されました。

澤田校長から「幸せに生きる力を身につけてほしい」と式辞のあと、入学生を代表して在所日菜さんが、「第1期生として学習や部活動に一生懸命取り組みます」と宣誓しました。



校章のデザインとスクールカラー

校訓「考・拓・愛」に込められた思いは、

◎【考】＝カワセミ
育てる生徒像の象徴であり、十勝にも飛来するカワセミのように自分や物事を客観的に見つめ直し、主体的に考えることができる力を表現しています。

◎【拓】＝稲穂
学校の所在地である「依田」は十勝開拓の父である依田勉三氏にちなんで名づ



けられた地名で、依田氏が取り組んだ事業の一つである水田、その開拓精神を受け継ぎ逞しく未来を切り開く力を表現しています。

◎【愛】＝柏の葉
幕別町の木である柏は、秋に枯れた葉が冬季の強風を防ぎ、春に新芽が出るまで落葉しない特性から「代が途切れない」縁起物とされています。また花言葉は「愛は永遠に」であることから地域への誇りと愛着を持ち、地域の未来を担う力を表現しています。

スクールカラーは翡翠色
江陵高校のスクールカラーの「緑」、清陵高校の清「青」を合わせた青緑色の中から最も美しい「翡翠色」となっています。江陵の伝統を礎に清陵が新たな歴史を刻む、またカワセミの羽の色でもある「翡翠」をスクールカラーとしています。

学校名は違うけど、いつでも頼ってほしい

入学式の翌日には、江陵高校生徒会主催の「新入生歓迎会」が行われました。

江陵高校、清陵高校の両校長からのあいさつに続き、江陵高校生徒会長の阿部美宙さんから「高校生活は楽しいです。いつでも私たちを頼ってください。」と新入生へのエールがありました。

歓迎会では、江陵高校の紹介と年間の行事紹介ムービーが流され、江陵高校にある14クラブが、それぞれ



新入生代表挨拶をした島崎愛彩さん

趣向を凝らした紹介と新入生の勧誘パフォーマンスに笑顔の絶えない時間となりました。

クラブ紹介のあと、新入生を代表して島崎愛彩さんが「高校名は違うけど、ここからの高校生活が楽しみです」とお礼のあいさつがありました。

終了後に生徒会長の阿部美宙さんに取材していたところ「私の妹が清陵高校の一年生なんです」とのワードが・・・

頼れるお姉さんの存在、清陵高校新入生の阿部美月さんは、生徒会長の妹。美月さんは、建築に興味があつて、どこの高校にす



清陵高校1年生の阿部美月さん



江陵高校3年生の阿部美宙さん

るか考えていく中で、「清陵高校が自分の夢に沿った高校生活を送れるかな?」と思いました。」と話してくれました。

幕別高校卒業生のお母さんは「どんな生活になるんだろうね。わくわくするね。」と楽しみにしているようで、美月さんも「姉がいることでの安心感がある。生徒会長として活動している姉を尊敬しています。」と話してくれました。